

自分の目と耳で確かめる力を



第34回大阪市立中学校総合文化祭が、10月18日と19日の2日間、大阪市中央公会堂で開催されました。本校のパソコン部のみなさんは、プロジェクションマッピングの発表とタッチタイピングの体験ブースで活躍しました。また、家庭科部のみなさんのすてきな作品も展示され、多くの人の目を引いていました。

話題が変わります。10月15日から21日は「新聞週間」です。

みなさんは普段、新聞を読むこと、目を通すことがありますか。最近は新聞を購読する家庭が少なくなり、中学生が新聞にふれる機会も減っています。

新聞には、世界のできごと、社会の動き、人々の努力など、たくさんの情報がつまっています。その中には、きっとみなさんが興味を持ちそうな記事が、ひとつやふたつはあるはずです。そして、記事を読んで「自分はどう感じるか」を考えることが大切です。新聞は、みなさんの“考える力”を高めるための、とてもよい教材なのです。

おそらくみなさんは、新聞よりもSNSなどで情報を手に入れることのほうが多いと思います。SNSでは、自分が興味のある情報や、自分の考えに近い意見ばかりが集まりやすくなっています。これを「エコーチェンバー」といいます。ほかの意見が聞こえなくなってしまう、違う考えの人を攻撃することにもつながります。

また、「フィルターバブル」という言葉もあります。自分の検索履歴やクリックしたニュースの傾向から、自分に合った情報だけが表示されるようになる現象です。便利なようで、気づかないうちに世界がどんどん狭くなってしまいます。

だからこそ、新聞のように「自分があまり興味を持っていないこと」や「いろいろな立場の人の意見」を伝えてくれるものが必要なのです。

新聞記者は記事を書く前に、「事実を確かめること」や「人の話をよく聞くこと」を大切にしています。うわさやあいまいな情報をそのまま信じて書くことはありません。

みなさんの学校生活でも、「誰かが言っていた」「なんとなくそう思った」ではなく、「自分の目と耳で確かめること」「相手の話をしっかり聞くこと」が大切ですね。

情報があふれる今だからこそ、「正しく知ること」や「自分で考えること」を大切にしていきましょう。新聞に書かれているニュースを通して、自分の視野を広げ、考える力を育ててほしいと思います。